

山陽染工が展示会に出品する靴



# 福山、井原の6社 伊ミラノで展示会

イタリア・ミラノにあるセレクトショップ「TENOHAMILANO」で4～9日、福山、井原市のデニムメーカーなどがオリジナル商品を集めた展示会を開催する。両市などの繊維関連企業や自治体が取り組む「備中備後ジャパンデニムプロジェクト」の一環で、海外での商品展示会は初。デニム産地を世界各国にPRするとともに、製品や生地の販路拡大を狙う。(良田桃子)

出品するのは、福山、井原市のデニムやアパレルメーカーなど6社。色違いのデニムを織り込んで作ったマットやちようネクタイ、バッグなどを、店舗内に展示スペースを設けて紹介する。期間中、ミラノでは欧州をはじめ世界各国から有名ブランドのデザイナーやバイヤーが集まる世界最高峰の生地見本市「ミラノ・ウニカ」が開催されており、同プロジェクトにかかわる企業も昨年からは生地を見るだけでなく、商品への

# デニム産地 世界へ発信

## 靴やマット用品 販路拡大狙う

具体的なイメージを浮かんでもらおうと同時期に展示会を開催することにした。セレクトショップに出品する企業のうち、山陽染工(福山市一文字町)は、デニムの色を抜いて柄の濃淡を付ける独自の技術「段落ち抜染」を用いた靴2種類を並べる。同社はウニカにも昨年に引き続き出展。「商品化のイメージをつかんでもらいたい。販路が広がればうれしい。日本にこんな企業があるんだと知ってもらえれば、期待す

にもしたい」と期待している。

ショップでは販売も行う。プロジェクト事務局の福山市産業振興課は「知られていないデニム製品も多い。バイヤーだけでなく、海外の消費者に直接買ってもらえる可能性を広げていきたい」としている。

# 学校運営協導入で議論

## 庄原市総合教育会議



学校運営協議会の在り方などについて話し合った庄原市総合教育会議

庄原市は1月29日、市長と教育委員が教育課題について話し合う市総合教育会議を市役所で開き、2020年度に東城、庄原の2中を皮切りに導入する学校運営協議会の在り方などについて意見交換した。

委員は2中での成果や課題を研究した上で、22年度以降に他校への導入まで現行の19小

入を検討する。会議には、木山耕三市長と牧原明人教育長、教育委員4人が出席。市教委の概要説明に続いて意見交換があり、各委員は「多様な教育課題には学校と地域が一緒になって取り組んだ方がいい」「学校評議員制度より双方で意見を出しやす」と、おおむね肯定的な考えを示した。

市内の小中学校を22年度までに現行の19小

7中から9小4中に統合する市の学校適正規模・配置基本計画についても話し合われ、委員からは「児童生徒だけでなく、新しい学校になじめない保護者

# 緊急停車装置を搭載

おのみちバス 運転手異常時に対応

第三セクターおのみちバス(尾道市東尾道)は、運転手の健康状態が急変した際、スイッチを押すと緊急停車する「ドライバー異常時



乗客定員55人の車両のハンドル脇と運転席後ろに取り付けられた

地を示す表示が「SOS」に切り替わる。車内では、「警察や救急に連絡してください」などのアナウンスが流れる。

同社は年1、2台ずつ